

研究課題名	脳梁離断術の適応となる成人全般てんかん患者と非てんかん患者における脳波結合性解析を用いた脳の部位間のネットワークの違いについての後方視的多施設共同研究
研究の意義・目的	脳波結合性解析は 2 つの脳波の電極間で得られた脳波振幅の相関関係を定量値(0-100)で示す解析であり、脳の各部位間のネットワークの強さを評価するにつながると言われてしています。今回、脳梁離断術の適応となる全般てんかん患者と非てんかん患者の半球間の脳波結合性解析結果を比較することで、交連繊維を介したネットワークの役割について研究します。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~2028 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2014 年 1 月~2023 年 10 月に大阪公立大学医学部附属病院脳神経外科、大阪市立総合医療センター-小児脳神経外科、小児神経内科で脳波検査を実施した方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年齢、性別、既往歴、てんかん発作型、てんかん症候群分類、罹患年数 ②内服薬：抗てんかん薬、その他の内服薬 ③検査所見：頭皮脳波所見、MRI 所見、FDG-PET 所見、脳磁図所見 ④手術情報：手術術式、手術後の機能予後、手術後の発作予後
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	大阪市立総合医療センター 機関長名：西口 幸雄
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	大阪公立大学医学部附属病院 脳神経外科 宇田 武弘

<p>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</p>	<p>公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院 大阪市立総合医療センター</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない場合</p>	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 TEL：06-6645-3846 FAX：06-6647-8065 メール：gr-met-neurosurgery@omu.ac.jp 担当者：宇田 武弘 大阪公立大学医学部附属病院 脳神経外科</p>